

語録にみる

橋下「維新」政治

上

橋下「維新」政治とはどんな政治なのか。「大阪維新の会」代表の橋下徹大阪市長、同幹事長の松井一郎大阪府知事、同会の大阪市長選候補、吉村洋文前衆院議員の語録から振り返ってみます。

「重要なのは独裁」

【政治姿勢】

「政治家を志すうちゅうのは、権力欲、名誉欲の最高峰だよ」(橋下氏、2006年12月、著書『まっとう勝負！』)

「2万歩ない」(橋下氏、07年12月6日、府知事選出馬について。同日、出馬表明)

「日本の政治のなかで一番重要なのは独裁」(橋下氏、14年1月6日、記者団に)

下氏、11年6月29日、政治資金パーティーで

「皆さんは国民に命令する立場になった」(橋下氏、12年4月2日、新規採用職員に)

「市長の顔をうかがわなくてだれの顔をうかがうのか」(橋下氏、12年4月13日、市議会財政総務委で)

「民主主義はフィクション(つくり事)」(橋下氏、14年1月6日、記者団に)

「指揮官を1人に」

【大阪市廃止・解体】

「府市を解体して指揮官を1人にすれば、全ての問題は解決する」(橋下氏、10年2月22日)

「大阪市の権限、財源をむしり取る」(橋下氏、11年6月29日、政治資金パーティーで)

「(大阪市を)バラバラにしない。五つにまと

めるだけ」(橋下氏、14年3月9日、出直し市長選の第一声)

「8割の人が大阪都構想、よく分からないと言ってます。でもいいんです」(橋下氏、14年10月11日、街頭で)

「単純な話、今やってる維新政治を誰が知事になっても継続していくことだ」(橋下氏、14年10月25日、街頭で)

「大阪都構想やったからといって、お金が極端に増えるわけでもありません」(橋下氏、15年4月27日、住民投票告示日に街頭で)

「格差と言うか特色と言うかは言いよう」(橋下氏、同日、大阪市を廃止してつくる五つの特別区間に住民サービスの格差が生まれるとの指摘に)

「誤解を招くので、そういった回答の仕方はし

ない」(大阪市の中に五つの特別区をつくる」(吉村氏、15年3月31日、大阪市内で開かれた6党の国会議員らの公開討論会で、5月の住民投票で賛成多数となったら大阪市は廃止されるのか「イエスかノーでお答えを」と問われ)

「大事なのは1人の指揮官で成長戦略をつくること」(住民サービスの)「どれを優先的にするか、新たな(特別区)区長のなかで選択する。それをサービスが下がると評価するのか、地域の特色と評価するのかの違いだ」(吉村氏、15年5月10日、大阪市内で開かれた超党派の勉強会で)

「ラストチャンス」

【都】構想再挑戦

「何度もやるものではない。一回限り」(橋下氏、15年5月7日、住民

投票について記者団に)

「僕が提案した大阪都構想、市民のみなさまに受け入れられなかったというところで、やっぱり間違っていたということになるでしょうね」(橋下氏、15年5月17日、住民投票で反対多数となった結果を受け、記者会見で)

「ラスト」とは、都構想以外では二重行政はな

くならない、唯一という意味だ」(橋下氏、5月の住民投票で「ラストチャンス」と呼びかけたのに、「都」構想に再挑戦することを釈明)

「11月の(府知事、大阪市長の)ダブル選挙で、大阪都構想の設計図をも一度つくり直してい

かどうか、市民、府民に問い直したい」(松井氏、15年9月15日、大阪市内で開いた大阪維新の会の政治資金パーティーで)



演説する(左から)橋下徹大阪市長、吉村洋文市長候補、松井一郎府知事。4日、大阪市

語録にみる

橋下「維新」政治

下

「市民はぜいたく」

【くらし切り捨て】

「大阪市民は非常にぜいたくな住民サービスを受けている」(橋下徹大阪市長、2012年4月5日、記者団に)

「地下鉄に乗らずに歩くことで健康になる人はいっぱいいる」「1駅分2駅分敬老パス使わずに、なれば歩いて行く」(橋下氏、12年5月23日、市議会民生保健委で、「敬老パス有料化で高齢者の外出の頻度が落ちれば健康のレベルが下がる」と指摘され)

「ばくだいな公金を投入して公立病院を維持するのは、行政のありかたとして間違っている」(橋下氏、15年1月22日、市議会民生保健委で、存続を求める署名7万人分が提出された市立住吉市民病院廃止に關し)

「勝負師になろう」

【カジノ・成長戦略】

「強い国になるためにカジノ法案を通してほしい」「小さいころから勝負を積み重ねて勝負師になれないと世界に勝てない」(橋下氏、10年10月28日、カジノ推進団体の総会で)

「原発の再稼働を認めなければ(府県民には)心分の負担がある」「産業には影響を与えないようにする」(橋下氏、12年4月26日、関西広域連合の会合・囲み取材で)

「嫌なら出ていけ」

【教育】

「日本は自己責任の国。いやなら出ていけしかない」(橋下氏、08年10月23日、私学助成を削減しないよう訴えた高校生に)

「教育とは2万歩強制」(橋下氏、11年6月12日、ツイッターで)

「憲法改正は絶対必要だ。もう安倍総理しかできないと思う」「その予行練習ですよ、大阪都構想は」(橋下氏、15年1月15日、記者団に)

「魅力のない学校で定員にも満たず、その学校に通うことは生徒自身の成長につながる」(松井氏、15年9月3日、記者会見で府立西淀川高校が募集停止の対象校とされたことについて)

「改憲協力できる」

【憲法・戦争法】

「慰安婦制度が必要なのは誰だってわかる」(橋下氏、13年5月13日、記者団に)

「維新の党は」(松井氏、15年10月1日の記者会見で。この場で橋下氏は「維新の党が偽物の維新の党になってしまったので本物の維新の党をつくる」と国政新党「おおさか維新の会」結成を表明)

「こんな人数のデモで国家の意思が決定されるなら、サザンのコンサートで意思決定する方がよほど民主主義だ」(橋下氏、15年8月31日、ツイッターで空前の規模になった30日の戦争法案反対国会前行動について)

(おわり)